

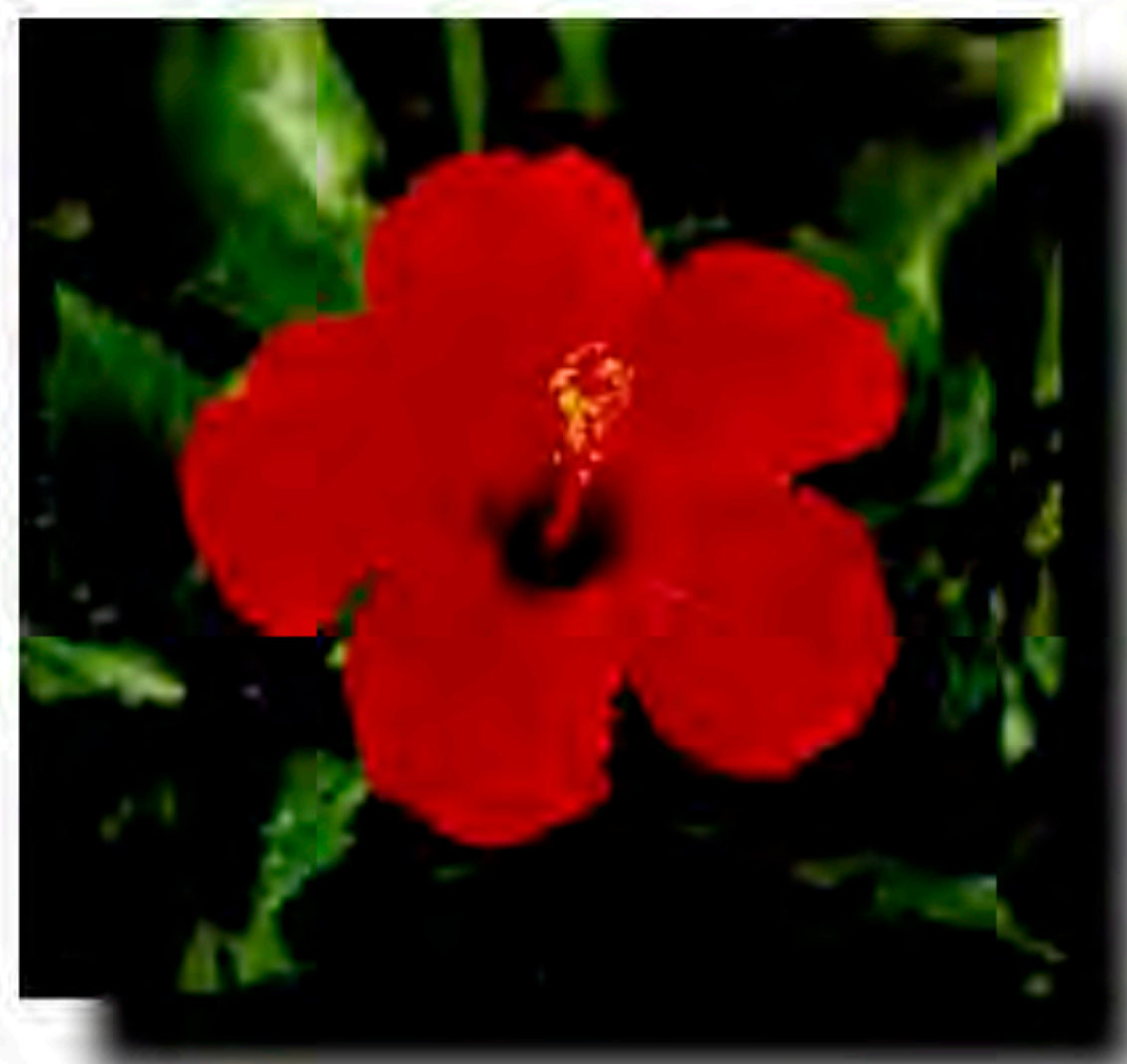
琉球大学

理学部

海洋自然科学科

生物系





生物系の理念

サンゴ礁と白い砂浜に縁取られ、照葉樹が深い緑の陰を落とす亜熱帯の島々。そんな美しい島々が弧状に連なってできた琉球列島には、複雑な地史や亜熱帯海洋性の特異な気候を反映し、陸域から海域にかけて実に多様な生物が暮らしています。その中には、琉球列島の固有種や、日本ではここでしか見られない熱帯系の種などが数多く含まれており、生物多様性の極めて高い地域として知られています。

近年、我々人類の営みは、このかけがえのない琉球列島の自然に大きな影響を与え、生物を取り巻く環境を急速に変化させてきました。「自然との共生」が人類共通の課題としてクローズアップされる今日、琉球列島の自然環境をどのようにして守り、どのように共存してゆけばよいのか、我々が考えなければならない課題は数多く存在します。こうした状況の中、生物学に対する社会の関心と期待は急速に高まっています。

我々生物系では、地域・国際社会で生物学が果たすべき役割を視野に入れながら、琉球列島の豊かな自然環境が持つ特色を最大限に生かし、多様な生命現象とその根底にある基本原理の理解を目指した教育・研究をおこなっていきます。

《教育に関する目標》

生物系では、生物学の基礎的知識を体系的に習得してもらうことを目標に、生物学の主要な学問分野に対応した教育をおこないます。また、生物学の先端的な知見に触れる機会を積極的に設けるとともに、学生の多様な要求・目的意識に対応した個性豊かな教育を目指します。特に、生物の営みに対する理解を深め、自然環境の重要性に対する認識を高めてもらうことを目標に、学内外の機関と連携を取りながら、琉球列島の恵まれた自然環境を実体験の場として活用した教育を展開します。こうした教育を実践することにより、生物学的素養を基礎に、地域から国際社会までの様々な分野において積極的に個性を発揮できる生物学徒を育成します。

《研究に関する目標》

生物系では、琉球列島の自然環境を最大限に生かしながら、亜熱帯照葉樹林に覆われる陸域から、河川、マングローブ林・干潟を経て、サンゴ礁が広がる海域まで、広範なフィールドに暮らす個々の生物の営みを明らかにすると共に、これらの環境を連続した一つのサンゴ礁・島嶼生態系として捉え、その包括的な理解と保全を目指した研究を推進します。また、生物多様性と生命現象の基本原理解明に向け、生態系、群集、種、個体、細胞、遺伝子という、マクロからミクロの視点までを含む多角的・総合的な研究を展開します。

《地域貢献に関する目標》

琉球列島の高い生物多様性を基盤として教育・研究を推進する我々は、社会に向かって自然環境と生物多様性の重要性を提言・啓蒙してゆく責任を負っています。生物系では、こうした社会的責任を念頭におきながら、学会活動や出版物などによる研究情報の公開を進める他、生物学の立場から行政に対する提言等をおこないます。また、生物多様性維持についての倫理観をすべての世代に共有してもらえよう、講演・公開講座などを通じた社会教育を積極的に推進します。

生物系の構成

生物系の教員組織は、分類学および生態学を研究主眼とした「進化生態学講座」、細胞生物学および分子生物学的アプローチをおこなう「熱帯生命機能学講座」、海洋生物学および水産学分野の研究をおこなう「海洋生物生産学講座」、の三つの大講座から構成されています。全国共同利用施設である熱帯生物圏研究センターは、学内協力組織として生物系の学部教育に連携協力しています。

大学院博士前期課程では、学内協力研究センター(熱帯生物圏研究センター)が「熱帯生物科学講座」を形成し、上記3大講座ともに海洋自然科学専攻(生物系)の教育研究を推進しています。さらに、大学院博士後期課程では、理学系教員とも相互乗り入れをはかり、「海洋島弧科学講座」と「サンゴ礁科学講座」からなる海洋環境学専攻において次世代研究者育成のための教育をおこなっています。

理工学研究科 大学院博士後期課程
海洋環境学専攻 生物系

理工学研究科 大学院博士前期課程
海洋自然科学専攻 生物系

進化・生態学
講座

熱帯生命機能学
講座

海洋生物生産学
講座

理学部
海洋自然科学科
生物系

学内協力研究センター

熱帯生物圏研究センター

生物系スタッフ紹介



● 傳田 哲郎
(denda@)
琉球列島の植物に関する系統や進化



● 久保田 康裕
(kubota_y@)
植物群集における生物多様性の維持機構



● 栗原 晴子
(harukoku@)
海洋環境変動とサンゴ礁生態系の関係



● 中村 崇
(takasuke@)
サンゴを基礎としたサンゴ礁生物の生態生理



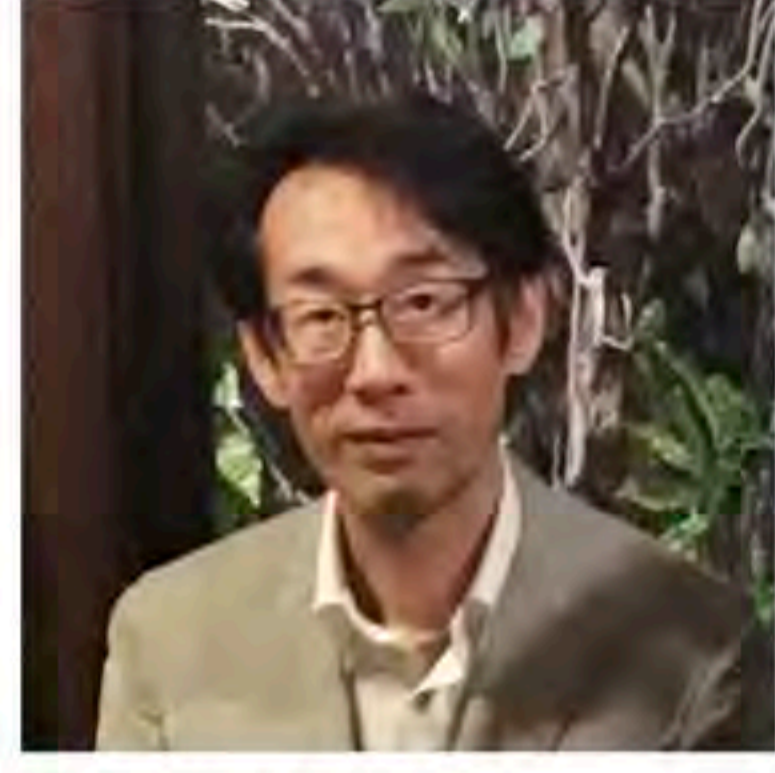
● 小林 峻
(kobashun@)
琉球列島の動物の生態、動物-植物相互作用



● 山崎 秀雄
(yamasaki@)
生物のストレス耐性と適応機構



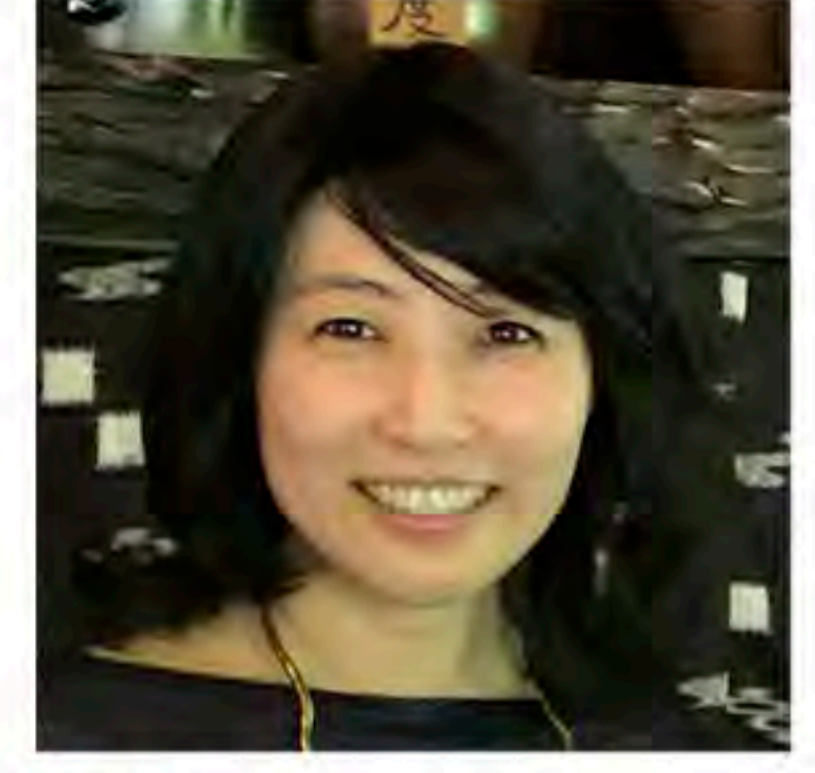
● 広瀬 裕一
(euichi@)
海棲無脊椎動物の多様な形と機能



● 大瀧 丈二
(otaki@)
蝶の色模様形成, 匂い受容, 蛋白質情報



● 伊藤 竜一
(ryuito@)
葉緑体(プラスチド)の分化と形態形成



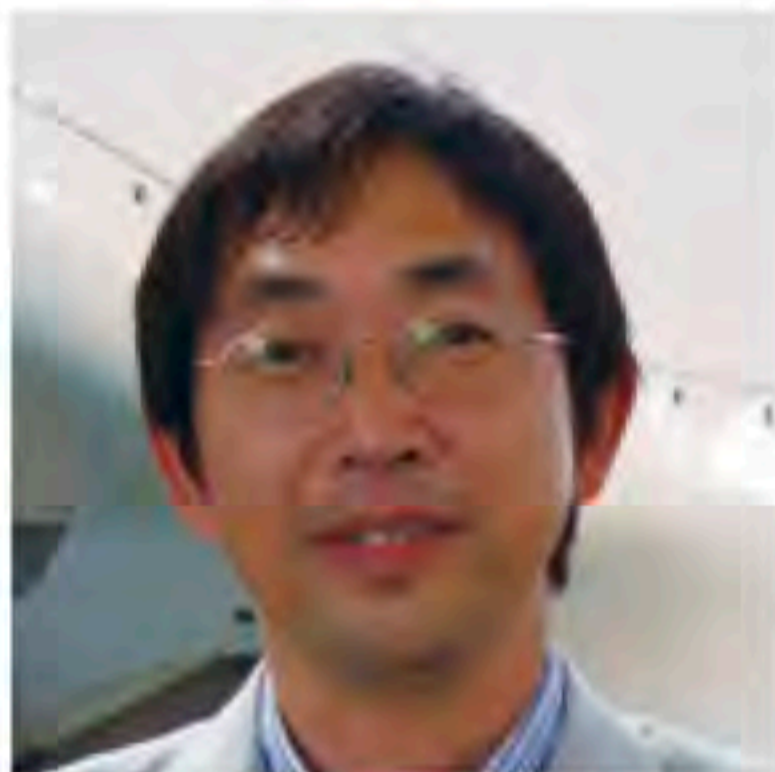
● 田中 厚子
(tanakaa@)
藻類の環境ストレス応答と細胞複製機構



● 須田 彰一郎
(sudas@)
藻類学



● 池田 譲
(ikeda@)
頭足類(イカ・タコ)の行動と知性



● 竹村 明洋
(takemura@)
サンゴ礁生物の産卵様式と環境利用



● 立原 一憲
(ktachiha@)
魚類の生活史: 魚の一生の研究



● 今井 秀行
(imai@)
魚貝類の遺伝的情報による生態解明と保全



● J. D. ライマー
(jreimer@)
刺胞動物の生態学, 分類学, 分子系統学



● 小枝 圭太
(koeda@)
魚類の分類、生態および多様性



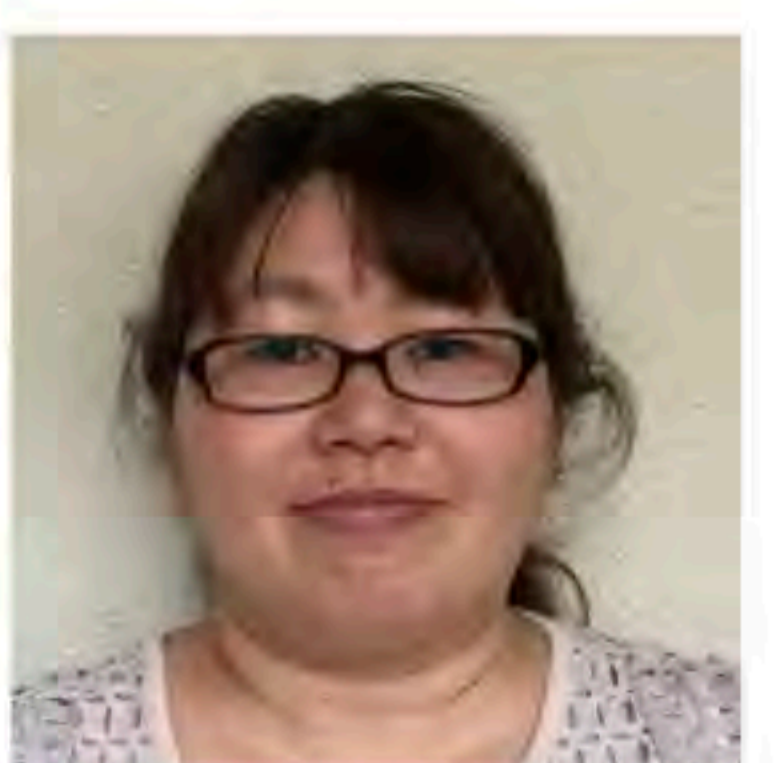
● 塩野 貴之
(shiono@)
生物多様性科学・マクロ生態学



● 玉城 歩
(ayumu@)



● 安里 須賀子
(sugakoko@jim.u-ryukyu.ac.jp)



● 平 利恵子
(tairari1@jim.u-ryukyu.ac.jp)



● 古堅 千子
(furugen@jim.u-ryukyu.ac.jp)

- 進化・生態学講座
- 熱帯生命機能学講座
- 海洋生物生産学講座

- 特命教員(講座所属なし)
- 生物系事務室

括弧内はメールアドレスです。
@で終わっている場合、後ろに sci.u-ryukyu.ac.jp が続きます。

連絡先

所属	職名	氏名	しめい	内線	部屋*
進化・生態学 講座	教授	傳田 哲郎	でんだ てつお	8545	B434
	教授	久保田 康裕	くぼた やすひろ	8561	B536
	教授	栗原 晴子	くりはら はるこ	8695	複415
	准教授	中村 崇	なかむら たかし	8897	共1-310
	助教	小林 峻	こばやし しゅん	8555	B426
熱帯生命機能学 講座	教授	山崎 秀雄	やまさき ひでお	8550	複603
	教授	広瀬 裕一	ひろせ ゆういち	8880	複604
	教授	大瀧 丈二	おおたき じょうじ	8557	共1-304
	准教授	伊藤 竜一	いとう りゅういち	8898	共1-311
	助教	田中 厚子	たなか あつこ	8547	B540
海洋生物生産学 講座	教授	須田 彰一郎	すだ しょういちろう	8564	B525
	教授	池田 譲	いけだ ゆずる	8548	B415
	教授	竹村 明洋	たけむら あきひろ	8993	B342
	教授	立原 一憲	たちはら かつのり	8556	B331
	准教授	今井 秀行	いまい ひでゆき	8554	B349
	准教授	Reimer, James Davis	らいまー じえいむず でいびす	8542	B353
	助教	小枝 圭太	こえだ けいた	8541	B424
	特命准教授	塩野 貴之	しおの たかゆき	8561	B536
生物系事務室	教務職員	玉城 歩	たましろ あゆむ	8578	B531
	事務補佐員	安里 須賀子	あさと すがこ	2418	
	事務補佐員	平 利恵子	たいら りえこ	8577	
	事務補佐員	古堅 千子	ふるげん せんこ	2836	

*B = 理学部B棟、複 = 理系複合棟、共1 = 共通教育棟1号館

生物系パンフレット 2022年度版（第14版）

琉球大学 理学部 海洋自然科学科 生物系

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町千原1番地

TEL: 098-895-8577(代表)

FAX: 098-895-8576

<http://www.biology.sci.u-ryukyu.ac.jp/>

